

第79回県美展が10日、熊本市中央区の熊本県立美術館本館（洋画）と分館（その他5部門）で始まった。県在住・出身者による一般公募の入



315点の作品が並ぶ第79回県美展の会場は10日、熊本市中央区

彫刻、絵画、工芸…力作315点 県美展始まる

賞・入選作と、会友・会員の力作計315点がそろつ。県美術協会主催。16日まで。

県美術協会は終戦直後の1946年、県内の美術発展と後進指導を目的に創設。今年の一般公募には日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、デザインの6部門に136人から149点が寄せられた。

グランプリの県美大賞に輝いた安川弘造さん（48）＝大津町＝の「風のチカラ」は、ヒノキの丸太を削り出した高さ約180センチの抽象彫刻。中央の滑らかな膨らみが人体の一部を想起させるイメージーションあふれる作品。

日本画部門の協会賞に選ばれた崇城大学院1年、米満雅さん（熊本市）の「Fairytale」は、さまざまな動物たちが紡ぎ出す優しい世界を柔らかな筆触で表現。洋画部門の協会賞、第二高3年岩本芽依さん（熊本市）の油彩「Building Composition」は、ビル群を色とりどりかつリズムカルに描写している。

（澤本麻里子）